

史絵. のトークタイム「鉄道で楽しむエコモビ」(要約)

○鉄道に興味を持つようになったきっかけ(鉄道の魅力)

豊橋鉄道の路面電車や名古屋市の子バスに興味があり、愛知県には年に3~4回来ています。

鉄道に興味を持ったきっかけですが、父や兄が鉄道に興味を示さなかったため、熱烈的な鉄道愛好家だった祖父が「史絵. だけには鉄道に興味を持ってほしい」と考えて、2歳の頃から近所の都電荒川線に数えきれないほど乗せてもらいました。

それがきっかけで路面電車に興味をもち、全国の路面電車に乗りました。

○観光資源のひとつ、江ノ電が愛される理由

江ノ島電鉄は藤沢から鎌倉まで、全10キロを34分かけて走っています。JRだと12分で到着でき、運賃は江ノ電が290円に対してJRは190円。にもかかわらず、江ノ電はすごく利用される方が多いんです。

乗客にその理由をインタビューしたところ、7割の方が「癒される」と答えられ、非常に驚きました。鉄道愛好家ではない一般の方が、そのように答えられるのはなぜか、江ノ電がなぜ皆様に「癒し」を与えているのか具体的にお話させていただこうと思います。

江ノ電には昔ながらの古い車両があります。近年、レトロ風車両が全国各地で運行されていますが、江ノ電300形・305編成は「レトロ風」ではなく、86年前の骨組が使用されている本物のレトロです。また、レトロ車両と平成20年登場の新型車両と一緒に走っている姿は、鉄道愛好家ではない一般の人にもとてもほほ笑ましい光景だと思っています。さらに、305編成は床が木でできており、そうした車両は現在ではほとんど走っていない貴重なものとなっています。

江ノ電全線開業100周年には木造風のラッピングが施されたリバイバルカラーの車両を復活しました。

江ノ電は車窓の眺めも格別です。海岸線を走るため、車窓から海が楽しめます。鎌倉高校前駅の目の前には海が広がっていて、天気がよければ富士山が見える風光明媚な場所で、関東の駅百選にも選ばれています。

同じく関東の駅百選に選ばれている極楽寺駅には古めかしいポストがあり、側には江ノ電唯一のトンネルもあり、あじさいも有名で写真撮影スポットになっています。

長谷駅には高德院の大仏や長谷寺という観光名所があり、長谷駅から鎌倉駅が一番混む場所となっています。

鎌倉駅には、駅員によるおもしろい仕掛けがあります。3番線の車止めの上に益子焼のカエルが置いてあり、季節に応じて様々な装飾を施すためにこれを目当てに来るファンも多く、「電車でGO!」というゲームにも登場するほどの人気となっています。また、ホー

ムには水田があり、「えの田」(えのでん)というおやじギャグの名前が付けられています。由緒ある鎌倉駅でこういうことをしてしまうところがとても面白いと思います。

同様に江ノ島駅には「ガー電」(ガーデン)というダジャレの庭園があり、一年中花が絶えないように管理されています。

パーク&レールライドも江ノ島、稲村ヶ崎、七里ヶ浜、由比ヶ浜の4駅で、鎌倉市内の渋滞緩和や交通事故を減らすために導入されています。

鉄道の一番は安全・安心、そして快適輸送です。江ノ電は、速達性には欠けていますが、それを補うほどの魅力があります。それが、「癒し」であったり、真心のサービスやおもてなしであったりしているんです。そういうことを感じながら、非日常的な空間を味わえるというのが江ノ電の魅力なのではないかと思います。

○会場参加者に愛知県の公共交通に関するYes・Noクイズを出題

問1 名古屋市営地下鉄は5路線である。

答 「No」 (正解は「6路線」)

問2 リニモは鉄道事業法が適用される。

答 「No」 (正解は「軌道法」)

問3 名古屋ガイドウェイバスは鉄道事業法が適用される。

答 「No」 (正解は「軌道法」)

問4 かつて存在していた名古屋の市電は日本で3番目に開業した。

答 「No」 (正解は「2番目」)

問5 今現在、名古屋鉄道の保有車両数は998両である。

答 「No」 (正解は「1056両」) ※2012年 名鉄グループ環境・社会報告書より

○愛知は公共交通の先進県

豊橋鉄道市内線を走っている「ほつトラム」はバリアフリー化されていることも素晴らしいですが、私が感動したのは、国産の狭軌で初のLRVであり、製造にかかわったすべての方の血と汗がにじむような努力でできた車両だということです。

さらに、新しいものだけではなく名鉄岐阜線や都電荒川線で使用していた古い車両も走っています。都電荒川線とは線路の幅が違っていました。車軸を切って幅を変えて使用しています。そのほか、豊橋鉄道市内線では様々にラッピングされた車両が走っており、模型が発売されるほど人気のラッピング車両もあります。

リニモは、日本唯一で日本初の浮上式リニアモーターカーです。繁華な場所から郊外まで緑豊かな丘陵地帯を走っています。とてもスムーズな加速とブレーキングで、あまりに静かなため眠くなってしまうほど素晴らしい乗り心地になっています。

名古屋ガイドウェイバス・ゆとりーとラインは、バスですが「軌道」として走っている

日本初の画期的なシステムです。車両はバスですが、ガイドウェイを走行する区間があるため「軌道法」として扱われる交通機関です。高架部分は表定速度30キロと路面電車や路線バスの倍くらいの速さで走っています。「軌道」のため、運転手が指差喚呼しているのが、バスでは見られない面白いところです。

日本最強のバスと言ってもいいぐらいのバスが名古屋の基幹バスです。専用レーンと優先レーンが設けてあり、他の乗用車などが道を譲っているバスの急行便のシステムで、日本唯一のすばらしいものです。

名古屋市営地下鉄には地下鉄で唯一の環状線があります。地上を走る環状線は東京や大阪にもあり、都営地下鉄の大江戸線も環状に近いですが、地下鉄の完全な環状路線はここだけです。

名鉄はなくてはならない名古屋を代表する鉄道で、スカーレットカラーが斬新で一度見たら忘れられないカラーです。パノラマカーという展望車を普通列車として走らせているところもすごく豪華だと思います。

○鉄道で「エコ モビリティ ライフ」

スローライフとよく言われますが、電車ならゆっくりと景色や街を楽しめ、何か発見があるというのがすごく大切なことだと思います。愛知県は自動車王国ですが、公共交通の先進県でもあります。そんな愛知県で、少し「発見」を求めてクルマから公共交通に乗り換えてみてはどうかと思います。

毎日の通勤をいきなり全て公共交通に転換するのは大変だと思いますが、通勤でクルマを利用するのを週5日から4日に1日減らすだけで渋滞が2割減ると言われています。

輸送人員1人あたりのCO₂の排出量は、鉄道を「1」とすると、バスは「3」、航空機は「6」、自家用車は「9」になっています。歩くのはそれ以下なので、一番環境にいいのは徒歩です。私はダイエットや健康にすごく興味があって、移動の8割は公共交通プラス徒歩にしており、1日1万歩以上歩くように心がけています。1駅手前で降りてお気に入りのお店に入るとか、何か目的を決めておくと良いと思います。

厚生労働省の調査によれば、1歩歩くと、0.0014円医療費が節約できるそうです。1日に1万歩歩けば14円節約できます。「塵も積もれば」の話ですが、多くの人が取り組めば大きなものになります。

クルマがどうしても必要な時も、江ノ電の例でも紹介したパーク&レールライドの利用をお願いしたいと思います。

毎月第1水曜日の「エコモビの日」から「エコモビ」を始めてみるのも良いのではないのでしょうか。

(要約：愛知県交通対策課)